

日本基礎老化学会 **サーキュラー** 第 112 号

日本基礎老化学会 **Japan Society for Biomedical Gerontology**

2018年9月10日 発行

東京理科大学での年会、楽しんでいただけたでしょうか？学会奨励賞受賞の皆さん、おめでとうございます！今後の研究の発展をお祈りします。

10月13日（土）には、学会主催シンポジウムが開催されます（世話人・清水孝彦理事）、参加費無料！周りの研究者を誘ってご参加ください。千葉大学でお会いしましょう！

魅力ある、活力ある学会を目指して、会則・細則の大幅な変更が総会で承認されました（目次参照）。時代のニーズと学会の規模に合わせた改革を進めています。みなさんの声を評議員や理事を通してお知らせください。

サーキュラー112号をお届けします。下の目次の興味ある記事をクリックして、お読みください。

庶務理事 遠藤昌吾

112号の目次

どうして会則・細則を大幅改正したの？

今回会則改正で大きな点は、理事の削減と評議員選出方法の改正です。1995年に600名であった会員数は現在約半分の300名ほどになっています。。。 [続きを読む](#)

2023年 IAGG Asia/Oceania Congress と 2029年 World Congress の日本招致開始。

今年4月に、7学会で構成される日本老年学会において、2023年と2029年の上記学会を日本へ招致するための委員会が設置されました。基礎老化学会からは、下川理事長と石神理事が。。。 [続きを読む](#)

- 10月13日 第39回シンポジウム 「栄養・代謝シグナルと老化制御機構の接点」
- 学会奨励賞受賞者決定！
- 2018年度第1回基礎老化学会理事会議事録 [学会の“これから”がここに！](#)
- 2018年度第1回基礎老化学会評議員会議事録
- 2018年度第1回基礎老化学会総会議事録
- 【事務局より】 [事務局連絡先、入会、退会、会員情報変更、会費などについて](#)
- 【日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定】 [国内外の学会などの情報です。](#)
- 【会員の動向】 [正会員数、学生会員数、賛助会員数です。](#)
- 【日本基礎老化学会賛助会員・広告会員一覧】 [基礎老化学会を支えている企業や団体。](#)
- 【基礎老化学会ロゴマーク】 [学会ロゴマークの意味をご存知ですか？](#)

どうして会則・細則を大幅改正したの？

今回会則改正で大きな点は、理事の削減と評議員選出方法の改正です。1995年に600名であった会員数は現在約半分の300名ほどになっています。

日本基礎老化学会会則（新）

“第11条 本会に次の役員をおく。

理事長 1名、 理事 ~~842~~名、 ~~大会理事~~若干名、 評議員 若干名。。。。“

日本基礎老化学会運営細則（新）

“2-2-1 評議員候補者を推薦する者は、本会理事あるいは評議員2名以上の推薦書ならびに評議員候補者の履歴書(研究歴・関連分野における主要業績・会員歴等含む)を理事会に提出する。評議員候補者は、2-2-2 から 2-2-4 の条件をすべて満たす正会員とし、評議員資格は理事会で決定する。。“

しかし、1985年に理事数は6名から12名に増員されて、そのまま30年以上維持されてきました。さらに、年会開催を担当する大会理事が加わり15名程度の理事で理事会が運営されてきました。今回の改正は、会員数が減少していることに伴い身の丈に合った理事会サイズにするという、下川理事長の強い意志を反映したものです。コンパクトな理事会にはなりますが、年会の大会長はオブザーバーとして加わり、また、皆さんの会員事務や学会運営に支障がでないように事務局としても支えていきます。

理事長、編集（学会誌）、会計、庶務と多忙な学会事務局を支える理事も8名の理事から選ばれます。8人中4人の理事が忙しい事務局担当となります。理事を名誉職としてだけではなく、学会の激務をこなし、積極的に運営に関与してくれるという視点も考慮して理事を選ぶことも必要です。

評議員選出方法変更には次回お話しします。

[目次へ](#)

2023年 IAGG Asia/Oceania Congress と 2029年 World Congress を日本招致へ！

今年4月に、7学会で構成される日本老年学会において、2023年と2029年の上記学会を日本へ招致するための委員会が設置されました。基礎老化学会からは、下川理事長と石神理事が委員として招致委員会に参加しています。

2023年のAsia/Oceania Regional Congressは日本とインドなどが立候補予定。また、2029年の世界大会は日本とオーストラリア／ニュージーランド連合、中国などの立候補が見込まれ、オーストラリア／ニュージーランド連合は立候補に先駆けてIAGG2021 (Buenos Aires)のパートナーとして積極的に招致活動を始めています。



IAGG Asia/Oceania Regional Congress (2023年6月、パシフィコ横浜を予定)は来年の台北で投票により決定され、IAGG World Congress (2029年6月、京都を予定)は2021年Buenos Airesで投票により決定されます。

これらの開催はIAGG Councilorの投票により決定されます。2025年の開催地のプレゼンテーション、そして、投票がありましたが、ヨーロッパ開催だったこともあり、激戦となり数票差でアムステルダムに決定しました（Councilorである下川理事長談）。IAGG Councilor member（[メンバーリストはこちら](#)）に皆さんの知り合いがいましたら、日本が立候補するからよろしく！と是非宣伝してください！

2023年、2029年いずれも、IAGGに続けて同じ場所で老年学会（7学会合同会）を行うことが決まっています。若い研究者や学生にとって、身近なところで身近な分野の国際学会に参加するのは、大きな刺激になります。招致に向けて、がんばれ日本！

[目次へ](#)

第39回 日本基礎老化学会シンポジウム

後援：一般社団法人日本老年医学会



栄養・代謝シグナルと 老化制御機構の接点

千葉大学けやき会館 大ホール (千葉大学西千葉キャンパス構内)

2018年 10月13日(土) (受付開始13時より)

プログラム

参加費
無料

- 13時30分 **開会の挨拶** 千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 清水 孝彦
- 13時35分 **「インスリンシグナルによる記憶システムの恒常性維持機構」**
千葉大学大学院薬学研究院・生化学 殿城 亜矢子 先生
- 14時05分 **「食餌制限による腸管バリア機能の制御機構」**
国立長寿医療センター研究所・組織恒常性研究PT 赤木 一考 先生
- 14時35分～14時45分(休憩10分)
- 14時45分 **「アミノ酸シグナルとインスリン様シグナルによる物質代謝の調節」**
東京大学大学院農学生命科学研究科・動物細胞制御学 高橋 伸一郎 先生
- 15時15分 **「エネルギー代謝を制御する内分泌型FGFファミリーの解析」**
東京大学大学院農学生命科学研究科・食品生化学 清水 誠 先生
- 15時45分～15時55分(休憩10分)
- 15時55分 **「DNA損傷によるエピゲノム自己同一性の破綻と個体老化の分子機構」**
慶応義塾大学医学部・眼科学 早野 元嗣 先生
- 16時25分 **「ヒトの老化促進病態としての早老症ウエルナー症候群：研究と診療の進歩」**
千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 横手 幸太郎 先生
- 17時05分 **閉会の挨拶** 長崎大学・副学長 下川 功 理事長

懇親会

17時30分～ 千葉大学生協フードコート1 (参加費約3,000円、学生割引予定)

懇親会参加の
事前登録のお願い

懇親会参加人数把握のため、事前登録をお願い致します。
9月30日までに、シンポジウム事務局(shimizu_takahiko@yahoo.co.jp)にメール連絡下さい。
氏名・所属機関・メール・役職(あるいは学生)・会員非会員等、ご教示ください。

事務局

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 清水 孝彦
TEL: 043-222-7171 (内線71232)
e-mail: shimizu_takahiko@yahoo.co.jp

会場アクセス

最寄駅：JR西千葉駅(北口) 南門を經由し徒歩7分
京成電鉄みどり台駅 正門を經由し徒歩7分

詳しくはHPへ

http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/index.html



学会奨励賞受賞者決定！

[目次へ](#)

第41回日本基礎老化学会において、口演・ポスター発表を聞いた学会評議員及び理事の投票により、基礎老化学会奨励賞4人が選ばれました。おめでとうございます！！

受賞者には賞状と金一封が贈られました。それぞれの方のこれからの研究の発展を心からお祈りします！

O-38/Y Kazutaka Akagi et al.

“Dietary restriction improves intestinal cellular fitness to enhance but barrier function and lifespan in *D. melanogaster*”



下川理事長

赤木一考氏

樋上大会長

OJK-03/Y Masaki Kobayashi and Yoshikazu

Higami.

“Novel mediators for caloric restriction-associated metabolic remodeling in white adipose tissue.”



下川理事長

小林正樹氏

樋上大会長

O-41/Y Isao Masuda et al.

“Apple procyanidins promote proteoglycan biosynthesis associated with PGC1 α -mediated mitochondrial biogenesis in chondrocytes.”



下川理事長

増田功氏

樋上大会長

P-01/Y Kanari Taki et al.

“Analysis of mitochondrial activation mechanism in adipocytes by caloric restriction.”



下川理事長

瀧加菜里氏

樋上大会長

平成 30 年度 第 1 回 日本基礎老化学会理事会議事録

[目次へ](#)

日時：2018 年 5 月 31 日（木）17:00-18:30

場所：東京理科大学葛飾キャンパス、図書館ホール別室

出席：下川（理事長）、石井、遠藤（玉）、杉本、樋口、細川、森、山下、
清水、堀田、遠藤（昌）（以上理事）、石神、樋上（以上大会理事）、
内田、新海（以上監事）

欠席：近藤、重本（議長あて委任状）

I. 下川功 理事長挨拶 省略

II. 第 41 回日本基礎老化学会大会長挨拶： 樋上賀一大会長 省略

III. 審議・報告事項

1. 平成 29 年度決算報告：堀田 会計理事 **資料 1**

・繰越金が 50 万円減少しているが、約 100 万円分を基金に振り替えたためであり、
単年度では黒字である。

2. 監査結果報告：内田、新海 監事 **資料 2**

・監事より、会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。

会計理事からの決算報告、監査結果の報告の後、平成 29 年度決算は承認された。

3. 平成 30 年度予算審議：堀田 会計理事 **資料 3**

・ポスター奨励賞、口演奨励賞について奨励賞賞金の件数について確認あり。

学会奨励賞は 3 件まで、同点者がいる場合には 4 件まで学会基金から支出するという従来の取り決めが確認された。

会計理事からの提案通り平成 30 年度予算は承認された。

——年会——

4. 第 42 回(2019 年)日本基礎老化学会大会（7 学会合同会） **資料 4**

「健康長寿社会の実現を目指した老化制御研究」

6 月 6 日-8 日、仙台国際センターなど

準備状況報告：大会長 石神 大会理事

・順調に準備が進んでいる旨の報告があった。

・合同シンポジウムの座長は、主導学会から一人、
もう一人を補佐学会から選出する。

・以下の 1) 2) を基礎老化学会が主導学会として担当；

1) 「フレイル・サルコペニア・健康長寿」（補佐学会—老年歯科）

2)「老化制御」(補佐学会—老年医学)

3)「栄養・食べる力」に補佐学会として座長派遣(主導学会—老年歯科)

今後 1) および 2) の講演者を選出する。

・基礎老化学会“内“での科学の議論を重視するため、

招待講演者主体のシンポジウムは行わない。

若手学会員企画のシンポジウムや地元の東北大加齢研研究者を加えたシンポジウムを企画予定。

・基礎老化学会は、仙台国際センターで行う。

口演は1会場(約200席)。

ポスターは若手を中心に十分に時間をとる。

ポスター会場と口演会場は隣同士にある。

・仙台国際センターと合同シンポジウム会場である東北大100周年記念会館は、徒歩5-6分の距離。

5. 第43回(2020年)日本基礎老化学会大会

5月27-29日、長崎大学

準備状況報告: 大会長 下川 理事長

・会場を大学内に確保し、順調に準備が進んでいる。

・日韓シンポジウムの発展的解消のためのシンポジウムを企画。

——シンポジウム——

6. 第39回(2018年) シンポジウム: 世話人 清水 理事

「栄養・代謝シグナルと老化制御機構の接点」

千葉大学けやき会館(西千葉キャンパス構内)

2018年10月13日(土)午後

・順調に準備が進んでいる。プログラムは以下のとおり;

13時30分 開会の挨拶

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 清水 孝彦

13時35分 「インスリンシグナルと記憶」

千葉大学大学院薬学研究院・生化学 殿城 亜矢子 先生

14時05分 「栄養シグナルと組織恒常性」

国立長寿医療センター研究所・組織恒常性 G 赤木 一考 先生

14時35分 「インスリン様シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・動物細胞制御学 高橋 伸一郎 先生

15 時 05 分～15 時 20 分（休憩 15 分）

15 時 20 分 「FGF21 シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・食品機能学 清水 誠 先生

15 時 50 分 「DNA 傷害と組織恒常性」

慶応義塾大学医学部・眼科学 早野 元嗣 先生

16 時 20 分 「遺伝性早老症ウエルナー症候群と代謝」

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 横手 幸太郎 先生

17 時 05 分 閉会の挨拶

長崎大学大学院医学研究院・病理学 下川 功 理事長

17 時 30 分 懇親会を予定（千葉大学生協）

7. 第 40 回(2019 年) シンポジウム―世話人選任

- ・ 山下理事と杉本理事を世話人として選出した。

——会則・細則について——

8. 会則・細則改正について（評議員選出方法改正）：理事長 資料 5

- ・ 文言の修正 1 箇所あり（評議員会、総会資料を修正する）
細則 2-3-1 評議会（誤）→評議員会（正）
- ・ 会則は総会に諮り承認を求め、細則改正は総会に報告する。
- ・ 総会において会則・細則の改正が承認された場合には、本年末～来年初めに行われる理事選挙を改正された会則・細則に基づき実施することが確認された。

9. 理事・理事長の任期、役員の定年、名誉会員要件、理事年会費について

- ・ 理事長の重任規定について
理事の 1 期の期間が 3 年から 2 年へと変更された結果、理事長の重任期間が 6 年間から 4 年間へ短縮された。そのため、理事長の重任期間を 3 期 6 年とすることなどが議論された。
理事長の重任規定（2 期）を維持することとした。
- ・ 理事の重任規定について
若い役員の学会への寄与を考えた議論が行われ、執行部の新陳代謝を図るために現在の重任規定（3 期 6 年間）を維持することとした。
- ・ 役員の定年について
理事の任期は 65 歳とする（内規で対応する）。
評議員の定年は設けない。
- ・ 名誉会員の要件について
名誉会員の年齢要件（65 歳以上）は変更しない。

“通算 3 期以上にわたって役員を務めるか、。。”

→ “本会役員を通算 10 年以上務めるか、。。” へ変更。

(評議員会に細則変更承認を求める)

- ・ 理事年会費

1 万円→1.5 万円へ増額する

(評議員会に細則変更承認を求め、来年度から実施する)

——各種委員会等——

10. 編集委員会： 清水 編集理事 資料 6

- ・ 今回の年会の要旨号遅配についての状況説明があり、
この件について編集委員会・学会事務局からの謝罪があった。
- ・ 次回の大会長（石神理事）から、4 月下旬に要旨集を配布したいとの要望。

11. 広報・HP 委員会報告： 杉本 理事

- ・ HP の使用状況について、サーバー変更により集計が難しくなった。
- ・ 次項とも関連するが、基礎老化学会 HP の英語化を進めている。
どこまで英語化をするのかについて編集委員会とも協力・議論していく。

IV. その他

12. IAGG Asia/Oceania Regional Congress (2023)、

IAGG World Congress (2029) の日本への招致について：理事長、石神理事 資料 7

- ・ 日本老年学会国際学会招致委員会（荒井秀典委員長）
基礎老化学会の委員は下川理事長と石神理事。
- ・ IAGG Asia/Oceania Regional Congress (2023 年 6 月、パシフィコ横浜を予定) は、
2019 年台北で投票により決定される。
- ・ IAGG World Congress (2029 年 6 月、京都を予定) は、
2021 年 Buenos Aires で投票により決定される。
- ・ 2023 年、2029 年いずれも、IAGG に続けて老年学会（7 学会合同会）を行う。
- ・ 老年学会所属の 7 学会が力を合わせて招致活動を開始した。
- ・ 開催地決定の投票権を持つ IAGG Councilor に働きかけて、日本への投票を依頼してほしい。
- ・ 老年学会に所属する 7 学会の HP の英語化を図ってほしい。（開催地決定の投票権を持つ Councilor が HP を見ることを考えて）
- ・ コンベンション会社の選定について

2023 年、2029 年の両会議を引き受けるコンベンション会社を選定した。コンベンション会社 3 社（株式会社コングレ、日本コンベンションサービス株式会社、株式会社コンベンションリンクージ）が予算案を提出し、国際学会招致に関する企画・提案等の発表を行ったプレゼンテーション（＋質疑応答）を行った。委員による投票の結果、コンベンションリンクージが選ばれた。

(関連資料は理事会資料を参照ください)

平成 30 年度 第 1 回 日本基礎老化学会評議員会 議事録

[目次へ](#)

日時：2018 年 6 月 1 日（金）12:45-13:20

場所：東京理科大学葛飾キャンパス、図書館ホール

出席：旗野（1 区）、石神、内田、篠崎、樋上、町田、
三浦（以上 2 区）、海野、下田、丸山（以上 3 区）、
林田、森（以上 5 区）

委任状（議長へ）：大沢、近藤、千葉（以上 2 区）、柿澤（4 区）

欠席：田中（2 区）

事務局より委任状を含め定足数を満たす旨の報告。

議長として三浦ゆり氏を選出した。

I. 下川功 理事長挨拶 省略

II. 第 41 回日本基礎老化学会大会長挨拶： 樋上賀一大会長 省略

III. 審議・報告事項

1. 平成 29 年度決算報告：堀田 会計理事

2. 監査結果報告：内田、新海 監事

・監事より、会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。

会計理事からの決算報告、監査結果の報告の後、平成 29 年度決算は承認された。

3. 平成 30 年度予算審議：堀田 会計理事

会計理事からの提案通り平成 30 年度予算は承認された。

——年会——

4. 第 42 回(2019 年)日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

「健康長寿社会の実現を目指した老化制御研究」

6 月 6 日-8 日、仙台国際センターなど

準備状況報告：大会長 石神 大会理事

- ・順調に準備が進んでいる旨の報告があった。
- ・合同シンポジウムの座長は主導学会と補佐学会から一人ずつ選出する。
- ・以下の 1) 2) を基礎老化学会が主導学会として担当；
 - 1) 「フレイル・サルコペニア・健康長寿」（補佐学会—老年歯科）
 - 2) 「老化制御」（補佐学会—老年医学）
 - 3) 「栄養・食べる力」に補佐学会として座長派遣（主導学会—老年歯科）今後、1) および 2) の講演者を選出する。
- ・基礎老化学会 “内 “での科学の議論を重視するため、招待講演者主体のシンポジウムは行わない。
若手学会員中心のシンポジウム、東北大加齢研の研究者を加えたシンポジウムを企画する。
- ・基礎老化学会は、仙台国際センターで行う。
口演は 1 会場（約 200 席）。
ポスターは若手を中心に十分に時間をとって行う。
ポスター会場と口演会場は隣同士にある。
- ・仙台国際センターと合同シンポジウム会場である東北大 100 周年記念会館は徒歩 4-5 分の距離。

5. 第 43 回(2020 年)日本基礎老化学会大会

5月27-29日、長崎大学

大会長 下川 理事長

- ・会場を大学内に確保し、順調に準備が進んでいる。
- ・今後シンポジウム等を企画予定。

6. 第44回(2021年)日本基礎老化学会大会(7学会合同会)

井口昭久大会長(名大名誉教授)

- ・開催場所(おそらく名古屋)が決まり次第、基礎老化学会の大会長を決定する。

——シンポジウム——

7. 第39回(2018年)シンポジウム:世話人 清水孝彦 理事

「栄養・代謝シグナルと老化制御機構の接点」

千葉大学けやき会館(西千葉キャンパス構内)

2018年10月13日(土)午後

- ・順調に準備が進んでいる。プログラムは以下のとおり;

13時30分 開会の挨拶

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 清水 孝彦

13時35分 「インスリンシグナルと記憶」

千葉大学大学院薬学研究院・生化学 殿城 亜矢子 先生

14時05分 「栄養シグナルと組織恒常性」

国立長寿医療センター研究所・組織恒常性 G 赤木 一考 先生

14時35分 「インスリン様シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・動物細胞制御学 高橋 伸一郎 先生

15時05分~15時20分(休憩15分)

15時20分 「FGF21シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・食品機能学 清水 誠 先生

15時50分 「DNA傷害と組織恒常性」

慶応義塾大学医学部・眼科学 早野 元嗣 先生

16時20分 「遺伝性早老症ウエルナー症候群と代謝」

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 横手 幸太郎 先生

17時05分 閉会の挨拶

長崎大学大学院医学研究院・病理学 下川 功 理事長

17時30分 懇親会を予定(千葉大学生協)

8. 第40回(2019年)シンポジウムについて:理事長

- ・山下理事と杉本理事を世話人として選出した。

——各種委員会等——

9. 会則・細則改正について(理事定員削減・評議員選出方法改正)

- ・文言の修正1箇所あり
細則2-3-1 評議会(誤)→評議員会(正)
- ・改正内容について、理事長より説明あり。
- ・現在の評議員はそのまま評議員を続ける。
- ・会則は総会に諮り承認を求め、細則改正は総会に報告する。
- ・総会において会則・細則の改正が承認された場合には、本年末~来年初めに行われる理事選挙を改正された会則・細則に基づき実施することが確認された。
- ・評議員会の指摘に基づき、理事の会費を1.5万円とすることが理事会で承認されたことが報告された(細則改正後)。

10. 編集委員会: 清水 編集理事

- ・大会号が2号として組み込まれた。
- ・今回の年会の要旨号遅配についての状況説明があり、この件について編集委員会・学会事務局

からの謝罪があった。

11. 広報・HP 委員会報告：杉本 理事

- ・次項とも関連するが、基礎老化学会 HP の英語化を進めている。どこまで英語化をするのかについて編集委員会とも協力・議論する。

IV. その他

12. IAGG Asia/Oceania Regional Congress(2023 年)、

IAGG World Congress(2029 年)の日本への招致について(2023 年、2029 年): 理事長

- ・日本老年学会国際学会招致委員会(荒井秀典委員長)
基礎老化学会の委員は下川理事長と石神理事。
 - ・IAGG Asia/Oceania Regional Congress(2023 年 6 月、パシフィコ横浜を予定)は、2019 年台北で投票により決定される。
 - ・IAGG World Congress(2029 年 6 月、京都国際会館)は、2021 年 Buenos Aires で投票により決定される。
 - ・開催地決定の投票権を持つ IAGG Councilor に働きかけて、日本への投票を依頼してほしい。
 - ・老年学会に所属する 7 学会の HP の英語化を図っていく(開催地決定の投票権を持つ Councilor が HP を見ることを考えて)。
 - ・コンベンション会社の選定について
2023 年、2029 年の両会議を引き受けるコンベンション会社を選定した。コンベンション会社 3 社(株式会社コングレ、日本コンベンションサービス株式会社、株式会社コンベンションリンクエージ)が予算案を提出し、国際学会招致に関する企画・提案等の発表を行ったプレゼンテーション(+質疑応答)を行った。委員による投票の結果、コンベンションリンクエージが選ばれた。
13. 評議員よりの要望
- ・奨励賞の候補者の評価のための議論は口演では難しい。
口演が決まっても奨励賞候補者はポスターを出してほしい。

樋上大会長より

「今回の奨励賞は TR シンポジウムとの合同大会となった。ポスター発表に関しては、TR として理科大学内の者が大部分であった。口演から選ぶ 3 件は基礎老化学会から、ポスターから選ぶ TR 奨励賞は年会事務局から賞金が支出されるという、通常とは異なる状況で開催した。指摘の通り、口演であってもポスターがあること、あるいはポスターのみが望ましいと考えている。」

石神理事(来年の大会長)より

「ポスターと口演の両方を行うことは発表者の負担が大きいの、どちらかにしてほしいとの意見がある。来年の大会(仙台)では、口演は 1 会場で行うため、口演のみで全ての演題をカバーできない。そこで、来年は、“若手奨励賞はポスター”、“口演はその他の課題”とする予定である。

奨励賞の審査を口演のみで行うと、全課題を聞くことができない審査員も出てしまう。奨励賞の公平性確保のためにも、ポスター発表の時間を十分に取、全ての審査員が発表者に接することができるようにして、ポスター会場で投票を実施したいと思っている。

ただし、年会は大会長の裁量が大きく、奨励賞候補者の発表が口演かポスターは大会長の判断になる。」

(関連資料は理事会資料を参照ください)

平成 30 年度 第 1 回 日本基礎老化学会総会 議事録

[目次へ](#)

日時：2018 年 6 月 2 日（土）16:40-17:15

場所：東京理科大学葛飾キャンパス、図書館ホール

出席者：94 名（含む委任状 63 名）

正会員 232 名の 1/4 以上の出席があり、
事務局より総会成立の旨の報告があった。

慣例に従い、大会長・樋上賀一理事が総会の議長を務める。

I. 下川功 理事長挨拶 省略

II. 第 41 回日本基礎老化学会大会長挨拶： 樋上賀一大会長 省略

III. 日本基礎老化学会若手奨励賞授与：下川功理事長、樋上賀一大会長

理事、評議員による投票の結果、以下の 4 課題に奨励賞が授与された（賞状および金一封）；

O-38/Y **Kazutaka Akagi et al.**

“Dietary restriction improves intestinal cellular fitness to enhance but barrier function and lifespan in *D. melanogaster*”

O-41/Y **Isao Masuda et al.**

“Apple procyanidins promote proteoglycan biosynthesis associated with PGC1 α -mediated mitochondrial biogenesis in chondrocytes.”

OJK-03/Y **Masaki Kobayashi** and Yoshikazu Higami.

“Novel mediators for caloric restriction-associated metabolic remodeling in white adipose tissue.”

P-01/Y **Kanari Taki et al.**

“Analysis of mitochondrial activation mechanism in adipocytes by caloric restriction.”

IV. 審議・報告事項

1. 平成 29 年度決算報告：堀田 会計理事

2. 監査結果報告：内田、新海 監事

・監事より、会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。

会計理事からの決算報告、監査結果の報告の後、平成 29 年度決算は承認された。

3. 平成 30 年度予算審議：堀田 会計理事

会計理事からの提案通り平成 30 年度予算案は承認された。

——年会——

4. 第 42 回(2019 年)日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）について

「健康長寿社会の実現を目指した老化制御研究」

6 月 6 日-8 日、仙台国際センターなど

大会長 石神 大会理事

準備状況報告（石神理事）：

・順調に準備が進んでいる旨の報告があった。

・合同シンポジウムの座長は主導学会と補佐学会から一人ずつ選出する。

以下の1) 2) を基礎老化学会が主導学会として担当；

- 1) 「フレイル・サルコペニア・健康長寿」(補佐学会—老年歯科)
- 2) 「老化制御」(補佐学会—老年医学)
- 3) 「栄養・食べる力」に補佐学会として座長派遣(主導学会—老年歯科)

今後、1) および2) の講演者を選出する。

- ・基礎老化学会 “内 “での科学の議論を重視するため、招待講演者主体のシンポジウムは行わない。
若手学会員中心のシンポジウム、東北大加齢研の研究者を加えたシンポジウムを企画する。
- ・基礎老化学会は、仙台国際センターで行う。
口演は1会場(約200席)。
ポスターは若手を中心に十分に時間をとって行う。
ポスター会場と口演会場は隣同士にある。
- ・仙台国際センターと合同シンポジウム会場である東北大100周年記念会館との間は、徒歩4-5分の距離。

5. 第43回(2020年)日本基礎老化学会大会について

5月27-29日、長崎大学
大会長 下川功 理事長

準備状況報告(事務局)

- ・会場を大学内に確保し、順調に準備が進んでいる。
- ・今後シンポジウム等を企画予定。

6. 第44回(2021年)日本基礎老化学会大会(7学会合同会)について：事務局

老年学会大会長 井口昭久氏(名大名誉教授)

- ・開催場所(おそらく名古屋)が決まり次第、基礎老化学会の大会長を決定する。

——シンポジウム——

7. 第39回(2018年) シンポジウム(世話人 清水理事)

「栄養・代謝シグナルと老化制御機構の接点」

千葉大学けやき会館(西千葉キャンパス構内)

2018年10月13日(土)

- ・順調に準備が進んでいる。プログラムは以下のとおり；

13時30分 開会の挨拶

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 清水 孝彦

13時35分 「インスリンシグナルと記憶」

千葉大学大学院薬学研究院・生化学 殿城 亜矢子 先生

14時05分 「栄養シグナルと組織恒常性」

国立長寿医療センター研究所・組織恒常性G 赤木 一考 先生

14時35分 「インスリン様シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・動物細胞制御学 高橋 伸一郎 先生

15時05分~15時20分(休憩15分)

15時20分 「FGF21シグナルと代謝」

東京大学大学院農学研究科・食品機能学 清水 誠 先生

15時50分 「DNA傷害と組織恒常性」

慶応義塾大学医学部・眼科学 早野 元嗣 先生

16時20分 「遺伝性早老症ウエルナー症候群と代謝」

千葉大学大学院医学研究院・細胞治療内科学 横手 幸太郎 先生

17時05分 閉会の挨拶

8. 第 40 回 (2019 年) シンポジウム：清水理事（理事長の代理）
理事会において山下理事と杉本理事を世話人として選出されたことが報告された。

———会則・細則改正について———

9. 会則・細則改正について（理事定員削減・評議員選出方法改正）：事務局
・文言の修正 1 箇所あり
細則 2-3-1 評議会（誤）→評議員会（正）
・改正内容について、事務局より詳細な説明。

審議の結果、会則・細則改正案は承認され、即日施行された。

- ・ 次回の理事選挙（2018 年末-19 年初め）は改正された会則により行う。
定員 8 名、大会理事廃止
- ・ 評議員選挙は行わず、現在の評議員が就任する。
- ・ 理事選挙後に、会則・細則に従い評議員の推薦手続きを行う。
評議員候補は理事・評議員 2 名の推薦を受けて、理事会で決定する。

———各種委員会等———

10. 編集委員会：清水 編集理事
基礎老化研究誌発行状況・予定について
・ 年に 3 号発行（1、5、9 月発行）、
・ 大会号が 2 号として組み込まれたことが報告された。
・ 今回の年会の要旨号遅配についての状況説明があり、
遅配について編集委員会・学会事務局からの謝罪があった。
11. 広報・HP 委員会報告：清水理事（杉本理事の代理）
・ HP への最も多いアクセスはロボットである。
・ 次項とも関連するが、基礎老化学会 HP の英語化を進めている。
どの程度英語化するのかについて編集委員会とも協力・議論する。

V. その他

12. IAGG Asia/Oceania Regional Congress (2023) および
IAGG World Congress (2029) の日本への招致について：石神理事
- ・ 日本老年学会国際学会招致委員会（荒井秀典委員長）が担当。
基礎老化学会の委員は下川理事長と石神理事。
 - ・ IAGG Asia/Oceania Regional Congress (2023 年 6 月、パシフィコ横浜を予定) は、
2019 年台北で投票により決定される。
 - ・ IAGG World Congress (2029 年 6 月、京都国際会館を予定) は、
2021 年 Buenos Aires で投票により決定される。
 - ・ 開催地決定の投票権を持つ IAGG Councilor（資料 10-3）に働きかけて、日本への投票を
依頼してほしい。
 - ・ 老年学会に所属する 7 学会の HP の英語化を図る。
（開催地決定の投票権を持つ Councilor が HP を見ることを考えて）。
 - ・ コンベンション会社の選定について
2023 年、2029 年の両会議を引き受けるコンベンション会社を選定した。コンベンシ
ョン会社 3 社（株式会社コングレ、日本コンベンションサービス株式会社、株式会社
コンベンションリンケージ）が予算案を提出し、国際学会招致に関する企画・提案等
の発表を行ったプレゼンテーション（+質疑応答）を行った。委員による投票の結果、
コンベンションリンケージが選ばれた。



JSBMG

【事務局より】

[目次へ](#)

本会事務局の連絡先は以下の通りです。

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下へお願いします。

本学会をよりよいものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター研究所内

日本基礎老化学会事務局

FAX: 03-3579-4776 e-mail: secretariat@jsbmg.jp web site: <http://www.jsbmg.jp/>

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site (www.jsbmg.jp/contact.html) に掲載されている入会申込書 (MS Word 版) に記入し、事務局へ e-mail か郵便で送付してください。学生会員として入会の場合は、学生証などを PDF ファイルで添付してください。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7000 円 (理事 10000 円、評議員 8000 円)、学生会員は 2000 円です。未納分についての確認は、事務局 (secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

※学生会員は年に 1 度 (年度初め) 学生であることを証明できる書類を提示してください。

大会に参加する場合は事務局受付での提示も可能です。

※理事候補者は 11 月末までに、本年度までの年会費が納入されていることが必要です。また、今年度を含む 2 年度にわたり会費を納入していない会員は、選挙権・被選挙権とも失いますのでご注意ください (細則 1-2-3)。

【銀行振込の場合】

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください (secretariat@jsbmg.jp)。

みずほ銀行 (銀行コード 0001)

大山支店 (支店番号 628)

普通 1034063

名前 (口座使用者): 日本基礎老化学会

【郵便局利用の場合】

郵便局間の振込

口座記号番号 00170-3-46043

加入者名 日本基礎老化学会

他金融機関からゆうちょ銀行に振り込む際の振込用口座番号

〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 0046043

【基礎老化研究誌購読について】

学会年会費（正会員、学生会員）には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局（secretariat@jsbmg.jp）にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- （１） 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- （２） 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円 で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、住所等の変更、会費等】

入退会、休会、住所変更、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、就職や異動等があった事と思います。大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局（secretariat@jsbmg.jp）へ連絡をいただくと大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- （１） 退会の際は、ご自身の署名と捺印のある退会届（書式自由）を事務局までお送りください。急ぎの場合は e-mail による退会手続きも受け付けます（secretariat@jsbmg.jp）。
- （２） 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日です。退会が年度途中でも、その年度の「年会費」はお支払いください。退会予定の方は早めにお知らせください。

【e-mail について】

学会事務局と会員の皆様との連絡に e-mail を活用しています。e-mail アドレスを変更した方は、本会事務局宛にお知らせください（secretariat@jsbmg.jp）。協力をお願いいたします。

日本基礎老化学会大会（年会）

2019 年

第 42 回日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

大会長 石神昭人（東京都老人研）

日時：2019 年 6 月 6 日（木）～9 日（日）

場所：仙台国際センターなど

大会 HP: http://geront.jp/news/pdf/poster_31st.pdf

2020 年

第 43 回日本基礎老化学会大会

大会長 下川功（長崎大学）

2021 年

第 44 回日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

大会長：

日時：未定

場所：未定

秋のシンポジウム

2018 年

第 39 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人 清水孝彦（千葉大学）

日時：日時 10/13（土）午後

場所：千葉大学けやき会館（西千葉駅すぐ）

2019 年

第 40 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人 山下均（中部大学）、杉本昌隆（国立長寿医療センター）

日時：未定

場所：未定

JSBMG

2019 年

AIGG2019 Asia/Oceania

“Health & Wellbeing in the Silver World: From Bench to Policy”

Date; October 24-27, 2019

Place; Taipei International Convention Center

<http://www.iagg2019.org/>

2021 年

The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2021)

Date; June 20-24, 2021

Buenos Aires, Argentina

<http://www.iagg2021.org/>

2025 年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date; August 3-7, 2025

Amsterdam, Nederland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。
留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<http://info-centre.jenage.de/ageing/meetings-calendar.html>

JSBMG

【会員の動向】2018年7月末日現在

正会員：232名

学生会員：38名

合計：270名

賛助会員：10団体

【日本基礎老化学会賛助会員・広告会員一覧】

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。

賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。

あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？

入会をお待ちしています！

合同会社オータニ

ココロ力株式会社

小林製薬中央研究所 <http://www.kobayashi.co.jp/>

重岡胃腸科外科医院

東洋レジン株式会社 <http://www.resin.co.jp/>

日本水産株式会社 <http://www.nissui.co.jp/>

(株) ファンケル総合研究所 <http://www.fancl.jp/>

株式会社 明治 <http://www.meiji.co.jp/>

Medical Information Network

医療法人裕和会 <http://www.nagaoclinic.or.jp/>



基礎老化学会のロゴマークの意味をご存知ですか？

左から右へと人の一生を表しています。

常陸太田市の平山敬二さんのデザインで、

2015 年に多数の公募作品の中から選ばれました。

日本基礎老化学会 **サ—キュラー** 第 112 号

2018 年 9 月 10 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 遠藤昌吾)

173-0015

板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター内